

## 29 国際芸術祭に対する支援について

(文部科学省)

### 【内容】

2022年に開催する「国際芸術祭「あいち2022」」は、我が国の文化芸術を牽引し、世界の文化芸術の発展に貢献するとともに、文化資源の活用や地域の活性化に大きく寄与するものであることから、重点的に支援すること。加えて、開催年以外に行われる現代美術の普及事業等についても継続的に支援すること。

(背景)

- 本県では、2010年から、現代美術を基軸として舞台芸術なども併せて展開する国内最大規模の国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」を3年ごとに計4回開催してきた。このトリエンナーレは、現代美術と舞台芸術との複合的展開や、まちなかでの展開、普及・教育事業などの「愛知の独自性」により、国内はもとより、海外の美術関係者などからも高く評価され、我が国を代表する国際芸術祭の一つとして認知されている。
- また、「あいちトリエンナーレ」開催の中間年には、その成果を県内各地に広め、現代美術、複合芸術の普及・定着を図ることにより、開催への期待感を醸成するための、「あいちトリエンナーレ地域展開事業」を実施し、次代を担う若手芸術家の発掘・育成を行うとともに、子どもたちを始め多くの県民に文化芸術に触れてもらい、本県における文化芸術の裾野を広げてきた。
- こうした成果を踏まえ、本県では、新たな組織体制の下、先端的な芸術と社会や時代との関わり方などを提示する「国際芸術祭「あいち2022」」を2022年に開催するとともに、以降も芸術祭を継続して開催することにより、世界で大きな影響力のあるヴェネツィア・ビエンナーレのような発信力の高い国際芸術祭としてさらに発展させることを目指している。
- 国は、地域住民や芸・産学官とともに行う地域の文化芸術資源を活用した取組や、インバウンド需要回復、国内観光需要の喚起、文化芸術立国の基盤強化等に資する取組への支援を行っていくこととしている。我が国における多様な文化芸術を発信する観点からも、日本国内はもとより、世界の様々な国と地域から多様なジャンルのアーティストが集い、新たな芸術を国内外に向けて創造・発信するとともに、県内の文化芸術団体や芸術大学等と連携し、歴史・文化・観光資源を積極的に活用することができる「あいち2022」の開催に向けて、重点的な支援が必要である。加えて、その成果を県内に広げるため、地域への現代美術の普及及び若手芸術家の育成を図る事業等についても、継続的な支援が求められる。

( 参 考 )

国際芸術祭「あいち 2022」の概要

テ ー マ STILL ALIVE

今、を生き抜くアートのちから

会 期 2022年7月30日(土)～10月10日(月・祝)(73日間)

会 場 愛知芸術文化センター、一宮市、常滑市、有松地区(名古屋市)

主 催 国際芸術祭「あいち」組織委員会(2020年9月8日設立)

(会長 大林剛郎(株式会社大林組代表取締役会長))

芸術監督 片岡真実(森美術館館長、国際美術館会議(CIMAM)会長)

※2022年2月頃に、若手芸術家を対象に現代美術作品の企画募集を行い、展示・発表の場を提供する「アーツチャレンジ」をイベントとして実施。

あいちトリエンナーレ 2019 の結果概要

テ ー マ 情の時代 Taming Y/Our Passion

会 期 2019年8月1日(木)～10月14日(月・祝)(75日間)

会 場 愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋市内のまちなか(四間道・円頓寺)、豊田市(豊田市美術館及び豊田市駅周辺)

来場者数 675,939人

経済波及効果 約87億円

パブリシティ効果 約200億円

主な事業

【現代美術】

- ・国内外の66組のアーティストのテーマに沿った作品を美術館やまちなかで展示
- ・映像プログラム：国内外のアーティスト14組による映像作品15本を上映

【舞台芸術】

○パフォーマンスアーツ

- ・国内外の先鋭的な演劇等を9演目上演したほか、国際現代美術展の参加アーティスト5組によるパフォーマンス、参加型プロジェクトを実施

○音楽プログラム

- ・美術と音楽の垣根を越えた、祝祭感のあるライブパフォーマンスなどを実施

【ラーニング】

- ・子どもから大人まで来場者が互いに学び合い、創造性を楽しむためのプログラムを実施
- ・参加アーティストが県内の学校に出向き、児童・生徒とともにダンボールを使った作品を制作

◇現代美術地域展開事業(2020年度)の結果概要

タイトル 「境界のかたち 現代美術 in 大府」

Imagined Boundaries: Contemporary Art in Obu

会 期 2021年1月23日(土)～2月14日(日) 23日間

会 場 おおぶ文化交流の杜 allobu

来場者数 42,923人

内 容 若手を中心とした6組の現代美術作家による現代美術展  
出品作家によるワークショップ  
地元音楽ユニットによるコンサート

### 30 アジア競技大会の開催に対する支援について

(総務省、文部科学省)

#### 【内容】

第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）は、アジア最大のスポーツの祭典であり、スポーツの振興はもとより、国際交流や産業技術、文化等各方面にわたり、日本全国に大きな波及効果をもたらす大会である。このため、大会の成功に向け、国として次の支援をすること。

- (1) 2018年9月の閣議了解を踏まえ、本大会を東京2020オリンピック・パラリンピックに続く国家的なプロジェクトとして、国の計画等に明記すること。
- (2) 国との連携を強化し、開催準備を円滑に進めるため、組織委員会等に対し、国の幹部級職員等を派遣すること。
- (3) 競技会場の整備・改修及び大会の準備・運営に係る事業に対するスポーツ振興くじ（toto）による支援を行うこと。
- (4) 大会の準備・運営に係る事業について、宝くじによる支援を行うこと。
- (5) 本大会の開催を国内外で周知するため、積極的な広報に努め、機運醸成を図ること。
- (6) 東京2020オリンピック・パラリンピックに引き続き、本大会で活躍できる選手の育成に努めること。

#### (背景)

- 第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）は、スポーツ界にとって東京2020オリンピック・パラリンピックの次なる大きな目標となり、また、拡大するアジアとの交流を一層深める機会となるなど、日本全国に大きな効果をもたらす大会である。このため、東京2020オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップ2019等と同様に国の積極的な支援が必要である。
- 本県では、関係団体の協力を得て、2019年5月に組織委員会を設立したところであるが、組織委員会に対しては、政府が協力する旨の閣議了解がなされている。国との連携を強化するため、組織委員会に対し、国職員等の派遣が必要である。
- 現在、アスリートファーストの観点を踏まえながら、簡素で質素、機能的で合理的な大会となるよう取り組んでいる。しかしながら、競技会場の整備・改修及び大会運営には多額の経費が必要であるため、スポーツ振興くじ（toto）や宝くじによる国の支援が必要である。
- 大会を成功に導くためには、全国的な機運醸成が不可欠であり、国として、あらゆる機会を捉え国内外に向けて積極的に広報を行う必要がある。
- 東京2020オリンピック・パラリンピックに引き続き、本大会で日本人選手が活躍できるよう、必要な予算を確保するなど、国として選手育成に努めることが必要である。
- なお、日本初の開催となるアジアパラ競技大会についても、日本パラリンピック委員会からの要請を受け、2026年の開催に向けた検討を行っている。

(参 考)

## ◇第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)開催概要

- ・開催期間：2026年9月19日(土)～10月4日(日)
  - ・実施競技：約40競技(現在調整中)  
パリオリンピック(2024年)実施競技に加え、アジア特有の競技等
  - ・参加国・地域：45の国と地域
  - ・選手団(選手・チーム役員)：約1万5千人
  - ・選手村：名古屋競馬場移転跡地の他、愛知県内で分散
  - ・財政計画：大会主催者負担経費 850億円  
〔運営経費 440億円〕  
〔競技会場仮設整備費 110億円〕  
〔選手村仮設整備費 300億円〕
- ※上記金額は不確定要素が多いため、さらに費用の圧縮に努めるとともに、経費を精査する。

## ◇愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会概要

- ・名称：(公財)愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会
- ・設立：2019年5月30日
- ・主な役員等：名誉会長 榊原定征  
会長 大村秀章  
会長代行 河村たかし、田嶋幸三、山本亜土、水野明久  
名誉顧問 萩生田光一、室伏広治、山下泰裕  
(2021年3月1日現在)

## ◇第20回アジア競技大会推進議員連盟概要

- ・設立：2020年11月25日
- ・構成：顧問 遠藤利明、橋本聖子、赤松広隆  
会長 馳浩、事務局長 丹羽秀樹  
はじめ超党派の国会議員51名

## ◇閣議了解(抜粋)

2026年第20回アジア競技大会について

平成30年9月28日  
閣議了解

2026年にアジア・オリンピック評議会の主催により、愛知県・名古屋市で開催される第20回アジア競技大会は、国際親善、スポーツの振興等に大きな意義を有するものと認められるので、大会の運営に当たる第20回アジア競技大会組織委員会に対し、政府は協力するものとする。